

事業所名: グループホーム こすも

作成日: R6年 1月 21日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	運営に関する利用者、家族意見の反映 これまで以上にご家族との関係性構築を図り、互いを信頼できるような環境を作っていきたい。	ご利用者、ご家族、職員との接点を多く設け、信頼関係を築きながら、気軽に情報交換が出来るようになる。	SNSを活用し、日常の出来事、行事等を写真にて掲載し、取り組みの情報提供を行い、楽しみの共有を図る。 感染症対策に取り組みながら、ご家族との合同行事の実施検討を行っていく。	12 ヶ月
2	28	チームで作る介護計画とモニタリング ご利用者の全体像を、より深く把握するとともに、ご利用者のニーズに寄り添った計画書作成を行っていく。	本人の「できること」、「やりたいこと」などを適切なアセスメントの中で情報を得て、思いを汲み取りながら、実現できるような計画書作成を目指す。	アセスメントに、「起き上がり」、「立位」や、「BPSDの原因」、「IADL等の出来そうなこと」、「好きなこと、役割、要望」等を追記し、介護計画書に連動、提供するサービスの質を底上げし、QOLの向上を図っていく。センター方式等を活用し、本人の「今」を大切に出来るよう努める。	12 ヶ月
3	37	災害対策 災害の対応・対策を職員全体で周知し、適切な知識を身につけたい。	災害発生時、適切でスムーズな対処が出来るように、日々の災害時に関する取り組みの中で、全職員が連携して対処が出来る体制を整えたい。	全職員を対象とした避難訓練や、研修、ミーティング実施により理解を深めていく。 災害時の為の備蓄品の管理に関し、職員全体で意識して考慮する事が出来るように努める。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月